



行谷小学校 学校だより

日本一のトキの学校

トキっ子

第11号 [3月号]

令和3年3月19日発行



シリーズ「新型コロナウイルスに負けるな！」

感謝

= 新型コロナウイルスと闘い続けた一年を振り返って =

この一年、「新型コロナウイルスに負けるな!」というテーマを掲げて学校だよりを発行してきました。新型コロナウイルスと闘い続けた一年を振り返ります。

学校生活における一番の感染リスクは、休み時間や登下校時など教職員の目が届かない所で子どもたちの行動でした。子どもたちは、新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、マスクの着用、登校後の石けんによる手洗いはじめ、感染リスクを自ら判断し、それを避ける行動ができようになってきました。

2学期には、6年生が感染症対策を踏まえた休み時間の遊び方を全校に提案しました。学校行事が中止になったり内容が変更になったりして、例年と同じような活動ができずに、最高学年として自分たちの力を十分に発揮することが難しかったと思います。それでも、6年生は学校のリーダーとして、感染リスクを少なくする方法を調べ、調べたことを下級生に説明し、遊びの種類や場所を考え提案しました。休み時間後の手洗いも6年生が率先して行い、下級生のお手本となりました。行谷小の「新しい生活様式」の構築に大いに貢献しました。

晴れた日は、休み時間に外で遊ぶ子が増えました。当初は、感染防止のために遊びの種類が制限されていましたが、そんな中、木登りなど、校庭の自然を生かした新しい遊びが増えました。立ち入りを禁止していたザリガニ池もリニューアルされて、子どもたちの新しい遊び場となりました。腐食していた丸太橋を新しく架け替えてくださったのは、地域コーディネーターの板垣様をはじめ、5名の学校ボランティア委員の皆様です。暑い中、2日間かけて作業をしていただきました。子どもたちは、ザリガニ釣りやかくれんぼ、木のつるを使ってターザンをするなど、自然の中の遊びを工夫していました。

5・6年生が、「トキ解説」動画を配信しました。今年度は、新型コロナの影響で、トキの森公園でトキ解説ができませんでした。しかし、「トキのことを世界中のたくさんの人たちに知ってほしい!」という子どもたちの願いから、YouTubeに行谷小のチャンネルを開設し、「トキ解説」動画を配信しました。配信に当たっては、最新情報を可能な限り取り入れ、地域の有識者やトキ関連施設の方から監修をしていただき、客観性や正確性に留意しました。5・6年生は文化祭で発表した後も、講師を招いたりインターネットを活用したりして、さらに調査活動を続けて内容を見直し、深めました。なお、動画のBGMには、福岡の安部寿さんからいただいた「トキの歌」の音源を使わせていただきました。

学校が再三にわたり休業になり、子どもたちは、一人で学習する機会が増えました。このような中、改めて考えさせられたことは、「学校は、子どもたちに『自ら学ぶ力』を育てることができているのか」ということでした。そこで、「学習計画表」を活用した取組を全校で始めました。家庭学習の内容はもちろん、朝学習の内容を自分で決めて学習を進める取組です。教師から指示されたことをやるだけなら思考は不要です。自分の学習を自分で決めるためには「自分の課題は何か?」「今自分は何をすべきなのか?」について考え、自分の学びをマネジメントする必要があります。1年生も「学習計画表」を上手に活用して学習を進めています。「学習計画表」は春休みにも活用します。自分の学びに責任をもって、進学・進級に向けて学び続けていってほしいと思います。

この一年、大きな事故なく子どもたち全員が元気に登校できたことに感謝申し上げます。

保護者の皆様には、朝の検温にご協力いただき、お子さんの健康状態に気を配っていただきました。

校内陸上大会、文化祭等の学校行事の運営にも、たくさんの方からご協力をいただきました。

保護者の皆様をはじめ、学校ボランティア委員、サポート委員、学校運営協議会、後援会、地域住民の皆様、行谷小学校の教育活動を支えてくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

まだまだコロナ禍は続きそうですが、今後も教職員一丸となって、一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指します。

皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(校長 笠井 猛雄)